

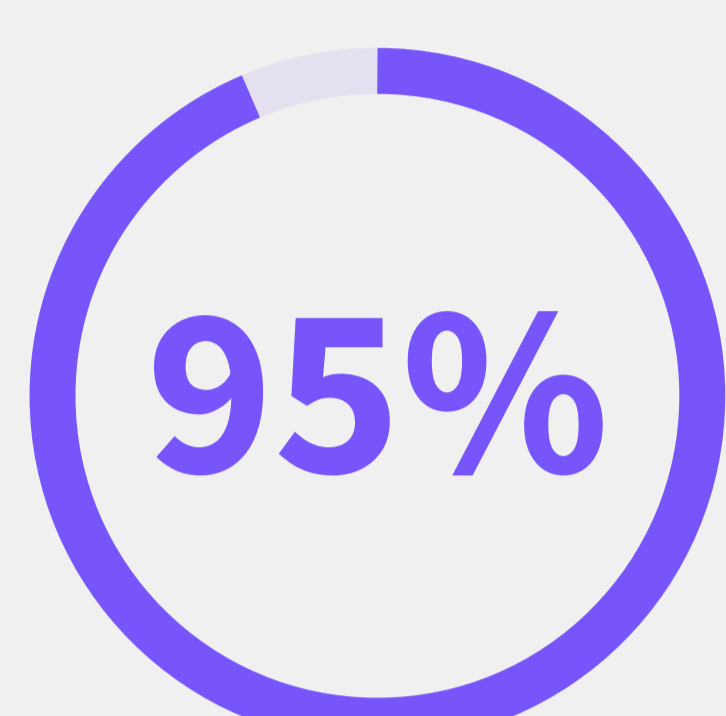
6つの簡単なステップで 実現する迅速な VMC-on-AWS マイグレーション

世界中の組織がITデジタルトランスフォーメーションを前進させるためにクラウドソリューションへと移行していく中で、よりシンプルかつ費用対効果に優れた、ワークロードポータビリティソリューションへの需要が高まっています

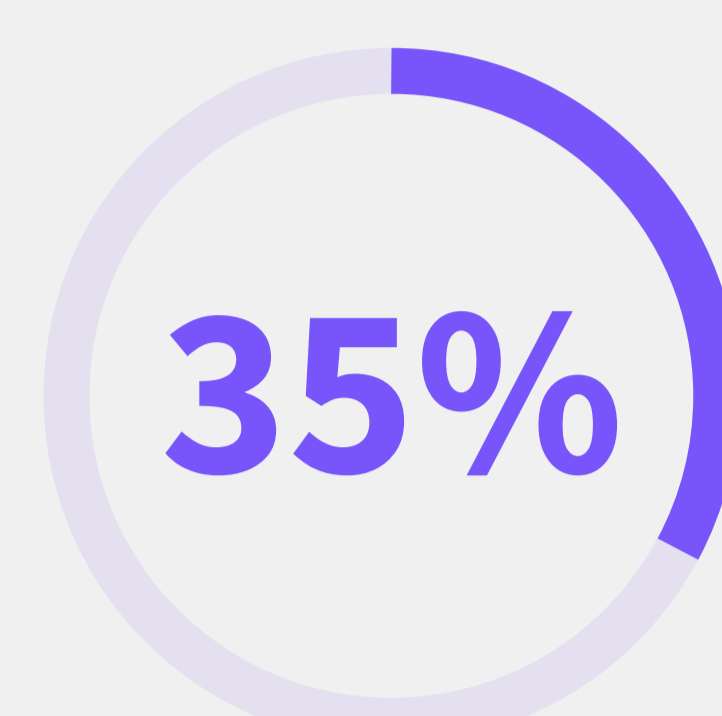
この需要は、2024 Enterprise Cloud Index (ECI) 調査で次のように強調されています:



アンケート回答組織のうち、ハイブリッド・マルチクラウド環境内にワークロードを配置する「クラウドスマート」アプローチを採用している割合



過去1年間でアプリケーションを環境間ですでに移行した割合



ワークロードおよびアプリケーション移行を著しい困難だと捉える割合

VMC-on-AWSの移行プロセスの合理化を目指した6つの主要ステップを通じて、この複雑性を分かりやすく解説していきます。

ステップ 01

ターゲットNC2-on-AWS環境を構築する

Nutanixのポータルを介して、ターゲットNC2-on-AWS環境を既存のパブリッククラウドアカウントにわずか数時間で簡単かつ素早く構築します。複数のパブリッククラウド、40を超えるクラウド地域、10以上のベアメタルインスタンスのタイプから選択できます。

ステップ 02

NC2-on-AWS環境を構成するS

Nutanix管理ソフトウェアを展開することで、オンプレミスにあるその他のクラウド環境向けにネットワーク接続とセキュリティポリシーを構成できます。AWS Marketplace経由で環境をライセンス管理するか、Nutanixのライセンスポータビリティを利用して、既存のオンプレミス用ライセンスをAWS環境へと移行できます。

ステップ 03

移行ツールを展開して構成する

ぜひ、Nutanix Moveをご利用ください。Nutanix Moveは、3ヶ月あたり25,000件以上の定期的な移行を行っている、無料で利用可能なNutanixの移行ツールです。Moveを展開して構成し、ソースVMC-on-AWS環境とターゲットNC2-on-AWS環境を接続します。

ステップ 04

移行計画の作成と実行

お客様の要件に合わせて移行計画が可能です。定義されたターゲットネットワークマッピングによって、1つまたは複数のバッチ処理されたVMのマイグレーションを拡張させます。移行計画を実行し、L2ストレッチネットワークを利用するワークロードの既存のIPアドレスを維持しながら、シームレスなデータシード移行プロセスを開始する。

ステップ 05

移行をテストする

隔離されたネットワークで迅速なVMテストを可能にする1-クリックの移行テストを実施し、確実にターゲット環境で想定通りに運用できるようにします。隔離されたネットワーク全体で複数のVMが通信し、接続性を確保することができます。

ステップ 06

ターゲットワークロードへのカットオーバーとエンドユーザー受け入れテストの実施

シーディングしたVMのカットオーバーを1-クリックで実行し、マイグレーションを仕上げ本番稼働できます。徹底したユーザー受け入れテストを実施して、IP予約用にネットワークルーティングを調整します。Nutanix Moveは、ソースVMが誤って起動することのないよう、これを自動的に無効化します。

¹ 第6回年次Nutanix Enterprise Cloud Index: <https://www.nutanix.com/jp/enterprise-cloud-index>

² Nutanix, Inc.は、VMware by BroadcomまたはBroadcomと提携していません

今すぐ、VMC-on-AWSからNC2-on-AWSへのシンプルでシームレスなマイグレーションを開始する

さらなる柔軟性、コストの最適化、ワークロード性能の向上を手に入れましょう。
>クラウド戦略を最適化して、ビジネスインフラストラクチャーを改善できるチャンスです。

「Test Drive」でさらに詳しく